

環境学習コーディネート実施概要（Web掲載）

依頼No	8	事例No	5	依頼者	愛知県立横須賀高等学校	実施場所	愛知県立横須賀高等学校
実施対象	愛知県立横須賀高等学校（夜間定時制）1～4年生（選択者 32名）						
実施日時	令和元年9月18日（水）19時20分～20時55分（1時間35分）						
テーマ	地球と私たち						

●依頼内容

高校の総合的な探求（学習）の時間で、環境科学を選択した生徒を対象に授業を行ってほしい。

●講師：中部地方 ESD 活動支援センター、中部大学 ESD/SDGs センター 原理史氏

原氏は EPO 中部および中部大学中部高等学術研究所に所属するとともに、中部地方 ESD 活動支援センター担当責任者、名古屋産業大学大学院非常勤講師などを務めている。これまで、子どもから大人まで様々な年齢層を対象に、地球温暖化をはじめとする環境問題に関わる各種講演会の実績があり、今回の依頼に適任と考えられ講師を依頼することとした。

●授業の内容

座学	講師の自己紹介のあと、「地球と私たち」と題するパワーポイントを使って講義が行われた。講義では、世界で今問題になっていることや、SDGs（持続可能な開発目標）の解説、気候変動問題とその対策についての説明が行われた。	45分
クイズとカードゲーム	休憩をはさんだ後半では、講師がドクターXに変装して登場した。テーブルの配置も教室形式からグループ形式に並べ替えられ、パワーポイントを使って○、×で解答するクイズが出された。その後、数人ずつのグループに分かれて、COOL CHOICE を実践するための方法を学ぶカードゲームを行った。	45分

●授業の様子

前半は、パワーポイントを使って、地球は限界に近付きつつあり、それに対して国連では17項目からなる「持続可能な開発目標 SDGs」を定めて取組を進めていることや、気候変動の実態と緩和・適応の取組等について、生徒に質問を投げかけながら説明が行われた。後半は、講師が白衣に着替えて前半の講師とは別人のドクターXになりきり、楽しくなごやかな雰囲気の中でクイズとゲームによる授業が行われた。ゲームでは夢中になって取り組む生徒の姿がみられた。また、ゲーム終了後もカードを見せ合いながら、カードに記載された COOL CHOICE の取組について教え合っていた。

前半はパワーポイントを使った講義が行われた



COOL CHOICE を学ぶカードゲーム「エコレ」

